



ちびっこまつりのご案内

ちびっこまつりは7月27日(土)午後1時から午後3時までの開催です。
園児たち、お家の方々、卒園児たち、未就園のおとどちが夏の楽しいひとときを過ごします。

夏の縁日気分がゆかた姿が可愛いですね。駄菓子おもちやくじ引きつり堀りスーパボールすくい
そして、かき氷、ポップコーン、HOT-ICE、J-Eのお店もあります。

食券の有効期間は午後3時迄です。忘れずに持参ください。払いどしは出来ません。

当日お使い頂ける金種は10円 50円 100円 500円の硬貨と1000円札と
させて頂きます。つり銭の用意に限りがありますのでご協力ください。

お手伝いのお母さま方は、バンダナとエプロンを持参の上、午後0時30分に楽園
ください。終了後の片づけはスタッフの仕事ですので、そのままご帰宅
されてください。



(心の育ちシリーズ)

すてきな子育てを!!

興味あるデータがあります。1万人近い非行少年少女とその家庭を調査した結果
家庭での溺愛が62%。放任をみると要因は85%にもなりました。

甘やかされて育った子は自分をコントロールする力がとても弱く、がまんする力を
持っておらず、ブレーキを持たぬまま育って行きます。

家庭での溺愛は誰がしたのかの調査では母親が70%で、祖母が23%
と言う結果が出ております。

人の育ちの基本は家庭にある事は事実で、幼児期の育ちがその人の
これからの人生の出発点になると言えます。

そこで家庭での躰を教えてください。幼児にとって躰をされると言う事は
親からある種のがまんと強要されていると言う事ですね。

躰が身についている幼児は、がまんが必要な時にがまんが出来ない幼児なのです。
もしもこの幼児期に何かの事情があって躰が身につかないままに
就学して行くとどんな小学生や中学生になってしまうのかを教えてください。

これからの育ちで、年令に応じた価値観と分別を持つ小学生・中学生として
育って行くのか否かの分岐点がこの幼児期なのです。

その子と言うか、その少年、その青年にして年令に応じた価値観や分別を持って
いない若者が街中に見かけます。

意欲と思いやりと言う性能の良いエンジンを持ち、性能の良いブレーキをも身に
つけさせる事は決して不可能な子育てではありません!